

## 観測施設情報

施設名	森林総合研究所 富士吉田森林気象試験地		
施設写真	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>(a) (注)</span> <span>(b)</span> <span>(c)</span> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">(注)森林総合研究所フラックス観測ネットワークホームページより転載</p>		
施設情報	所属先	森林総合研究所 気象環境研究領域気象研究室	
	施設所在地	〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1 山梨県富士山科学研究所内(試験地) 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1(森林総合研究所)	
	TEL	029-873-3211(代)	
	URL	<a href="http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/flux/FJY_j.html">http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/flux/FJY_j.html</a>	
施設概要	<p>富士吉田森林気象試験地は、森林総合研究所が森林の二酸化炭素呼吸量の把握と炭素循環メカニズムの解明に向けて設立した、全国 6 ヶ所の試験地のうちの 1 つです。これらの試験地は、「森林総合研究所フラックス観測ネットワーク(FFPRI FluxNet)」としてネットワーク化されています。FFPRI FluxNet は、JapanFlux、AsiaFlux に参画しており、日本(アジア)の森林生態系において継続的な観測研究を行うグループとして貢献しています。また、PEN(Phenological Eyes Network)やJaLTERにも参画し、分野間の連携を図っています。</p> <p>富士吉田気象試験地は、山梨県富士吉田市の富士山麓の剣丸尾溶岩流上に位置する常緑針葉樹林です。優占樹種はアカマツで、林内にはソヨゴ、コナラなどの常緑・落葉広葉樹が混交しています。気候は冷温帯に属し、標高が約 1000m と高いため、緯度の割には比較的冷涼な気候です。溶岩流の上に位置するため土壌の発達はきわめて悪く、落葉落枝とその分解物を除き土層はほとんど見られません。高さ 32m の観測用タワー(写真 a)を用いて、森林群落の二酸化炭素収支および放射量、熱輸送量等のエネルギー収支の観測(写真 b, c)が行われています。</p> <p>なお、本試験地は、森林総合研究所と山梨県富士山科学研究所との共同試験地となっています。</p>		
施設・測器	フラックスタワー、各種気象観測測器、地温計、土壌水分計、積雪深計、雨量計等		
観測項目	気象観測、CO2 フラックス、生態系観測(光合成、呼吸、成長量等)		
観測データ	各種気象データ、CO2 フラックスデータ等は、FFPRI FluxNet データベース上で公開されています。観測データ利用の際には、担当者への連絡が必要となります(連絡先は下記 URL 参照)。 ( <a href="http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/flux/data_j.html">http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/flux/data_j.html</a> ) (注)		
共同利用	施設内には、外部の機関の観測機器も設置されています。施設利用を希望される際には、まず担当者にご連絡下さい。		
その他	・フラックス観測の精度向上およびサイト間比較のために開発された可搬型の観測システムを用いた比較観測を行いました。(2007 年、2010 年)		

(注)ページが閲覧できない場合には、上記「施設情報」内の URL をご参照下さい。 更新日:2015 年 6 月 5 日

